麦の穂

97
令和5年
10月1日発行

発行責任者　医療法人光臨会　理事長　荒木 攻

医療法人　光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

ウィズコロナの時代と医師の働き方改革

最近、漸く秋らしい空気を感じられるようになってきましたが、今年は９月に入っても真夏日が続くとても暑い夏でした。全国の平均気温は 1898 年に統計を取り始めてから 125 年で最も高くなったようです。報道によりますと、この異常気象はラニーニャ現象の影響で太平洋高気圧が日本上空に大きく張り出したことや日本近海の海水温の記録的な高温が原因だそうです。

このような暑い夏でしたが、新型コロナウイルス感染症が５類に移行し、社会活動の制限も緩和され本格的な「ウィズコロナ」の時代が始まり、各地で人の流れが戻ってきました。広島市内でも外国人観光客の姿をコロナ前のように多く見かけるようになりましたし、マツダスタジアムではジェット風船も飛ぶようになりました。しかし、新型コロナウイルスの感染者数は高止まりしており、一部地域では第９波入りが疑われる状況となっています。

新型コロナのウイルスは弱毒化し５類へ移行したとは言え、病院では病気を抱えた入院患者さんが感染すると重症化やもともとの病気が悪化する危険があります。当院においても感染対策に万全を期していますが、非常に強い感染力のため、入院患者さんや職員に断続的に陽性者が出ており予断を許しません。「ウィズコロナ」の時代、患者さんの安全を第一に従来の医療を継続できるよう、職員一丸となって努力をして参ります。

さて、来年 2024 年 4 月の働き方改革関連法の施行により、建設業や運送・物流業と同様に勤務医に対しても時間外労働時間の上限規制が始まります。新型コロナウイルスの流行中には医療従事者の献身的な診療も話題になりました。現在の医療提供体制は、使命感のある医師の自己犠牲の上に成り立っている部分もありますが、医師が健康でなければ患者さんの健康を守れません。

当院は「医療の原点は救急である」の考えに基づき、広島市病院群輪番制度に参加し、年間 2,000 台超の救急搬送を含む約 3,400 件の救急患者さんを受け入れています。医師の働き方改革では、診療時間外での救急対応が時間外労働として規制の対象となる可能性があります。当院は夜間など病院の診療時間外においては広島大学病院からの派遣医にもご協力を頂いております。医師の健康管理が患者さんのためになるという視点で医師の働き方改革を実現しつつ、行政、医師会や広島大学など関係機関と相談しながら救急医療体制の維持に努めます。

また、昨年 10 月のこの欄で、「新たな時代の幕開けと『患者中心の医療』」と題して、人口動態変化に伴い再構築されつつある医療供給体制の中で、脳疾患を中心とした急性期医療の提供に加え、回復期病棟や訪問リハビリなどを通じた急性期から在宅まで一貫した医療の提供について強化する旨お伝えしましたが、この１年間で介護事業所を集約した ARAKI HEALTHCARE PLAZA の開業のほか、訪問看護や通所リハビリテーションの提供開始など行ってきました。

今後も急性期医療の充実とともに地域包括ケアシステムへ貢献するため病院機能の見直しなど進めて参りますので、引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

令和5年10月1日
病院長　**荒木　勇人**

もくじ

1 ウィズコロナの時代と医師の働き方改革
2 あんしんホーム（認知症対応型共同生活介護）の紹介
3 第26回 日本臨床脳神経外科学会に参加して
4 テレビ出演の紹介
「第6回荒木脳神経外科オープンカンファレンス」開催
5 近隣医療機関のご紹介　――（医療法人一陽会 原田病院）――

あんしんホーム（認知症対応型共同生活介護）の紹介

あんしんホームは、認知症を患い、かつ要支援２以上の方が入居される施設として、平成 12 年６月に庚午中にて事業を開始し、24 年目を迎えた今春、病院斜め向かいに完成した新ビル「ARAKI HEALTHCARE PLAZA」の4・5階へ５月 31 日（水）に引っ越しを致しました。

新しいあんしんホームは、自然光を上手く取り入れ、床材・建具に木材を使用することで、温もりある空間となっております。フロアにはリビングを２カ所配置し、傍には畳の間もあるため、ゆったりと過ごしやすい環境となっております。

また足が不自由になられたり、寝たきりとなられても、心地よく生活していただけるように、手すりが充実したトイレや、浴室にはチェアーインリフトバスを導入し、どなたでも浴槽に浸かっていただけるようになっております。

6階に屋外バルコニーがあり、広島市内を一望できます。日光浴や夕涼み、お花や野菜を育てたり、隣接する託児所の子供達との交流もお楽しみいただけます。

医療法人が運営するグループホームの強みを活かして、

①看護師が常駐し、日々の健康管理を介護士とともに行っています。

②同一法人の荒木脳神経外科病院の医師が定期的に訪問診療に訪れ健康管理を行っています。

③緊急時には荒木脳神経外科病院で 24 時間受け入れ体制を整えております。

④看取り介護を行っています。

【当施設での看取り介護について】

胃瘻や経鼻栄養、持続的な点滴などの医療行為は行えませんが、最期の旅立ちのその時まで、医師・看護師・介護士が連携ししっかりサポートさせていただいております。

これからも、入居者様・ご家族様に、「あんしん」をお届けできるよう、職員一同精一杯サポートしていきたいと思います。

今後とも、新しくなりましたあんしんホームを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

あんしんホーム　管理者　岩田　学

第26回 日本臨床脳神経外科学会に参加して

去る令和５年７月15日(土)・16日(日)の両日、栃木県宇都宮市のライトキューブ宇都宮にて「支えあい　分かち合い」を学会テーマに、第26回日本臨床脳神経外科学会が開催されました。当院からは6演題の発表を行いました。

<参加職員からの報告>

本学会では、リハビリテーション部の医療安全に関する取り組みについて演題発表を行いました。発表後には質問もいただき、部署内の医療安全教育体制を見直す良い機会となりました。また、他施設の医療安全に関する取り組みやリハビリテーションアプローチなど様々な発表も聴講することができました。

コロナ禍ではオンラインでの学会が続いていましたが、今回は久しぶりに現地開催での学会参加となりました。発表や懇親会等で他施設の方と直接交流し、学会ならではの雰囲気を感じることができました。今回の学会で得られた知識や経験を今後の臨床に活かしていきたいと思います。

作業療法士　鈴川　剛弘

私は、「安全・快適な入浴ケア提供への取り組み」という演題発表を行いました。患者様ごとの体力や身体機能、退院後の生活などを踏まえ、入浴ケア計画を立てられるように、評価項目を選定しました。自己満足ではなく、患者主体で考え、個別性のあるケアを提供することの大切さを再認識することができました。今後も、入浴ケアに限らず、患者様の回復過程に合わせた、安全・快適なケアを目指して、日々努力を重ねていきたいと考えています。

今回の学会は、感染対策のもと現地参加することができ、新しい知識の獲得、たくさんの方々との意見交換、おいしいご当地グルメにより、学びの多い、大変充実した2日間となりました。このような機会をいただけたことに感謝しています。

4階病棟　看護師　鈴木桂子

この度は、「当院におけるジャストスコアを活用した血栓回収療法に対する院内体制−4年間のまとめ−」という演題で発表を行いました。

ジャストスコアとは脳卒中の病型予測を救急搬送時に行えるもので、2018年8月兵庫医科大学により開発され、2020年8月にはジャストセブンが開発されました。前者は21項目の症状を入力することで判別し、後者は同等の識別能を有しながらも入力を7項目に減らしたものになっています。広島市では、2019年4月からジャストスコアを、2020年10月からジャストセブンを用いた脳卒中疑い患者の搬送システムが稼働しています(写真1)。当院ではジャストスコア「赤」にトリアージされた患者の搬送が決定すると患者到着前にメディカルスタッフを招集する体制をとっており、血栓回収療法を行うことが決まればただちに治療を行えるようにしています。さらに、当院ではD2P※常時60分以内を目標としており、2019年4月からジャストスコアのトリアージ結果を活用し、ワークフローの見直しや、臨床工学技士のオンコール体制を変更(1名→2名)することで時間短縮に努めました。

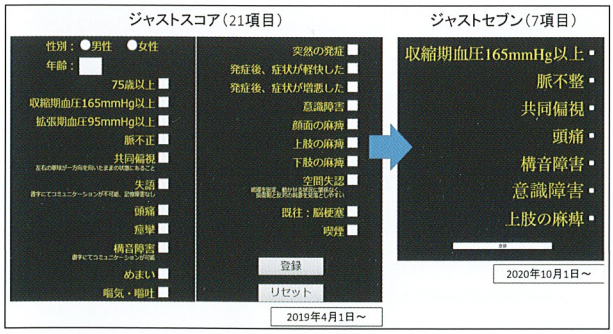


写真1

※D2P：Door to Puncture time
(病院到着から血栓回収療法開始までの時間)

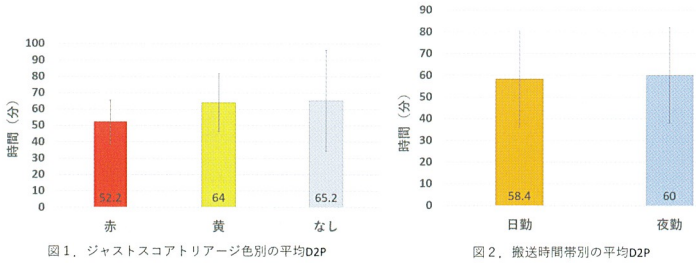


図1．ジャストスコアトリアージ色別の平均D2P

図2．搬送時間帯別の平均D2P

その結果、ジャストスコア「赤」で救急要請された症例では、平均D2Pは60分以内を達成し、「黄」およびジャストスコア使用「なし」では、平均D2Pは60分を超過していることが分かりました(図1)。また、搬送時間別(日勤帯、夜勤帯)のD2Pについても比較し検討したところ、どちらも平均D2P60分以内を達成できました(図2)。スタッフの少ない夜勤帯で日勤帯と同様にD2P60分以内を達成できたのは、ジャストスコア導入によって、多職種が共通の目的に向かってこれまで以上に一丸となり、チームで円滑に準備ができるようになったことが大きいと考えています。

今回のジャストスコアのトリアージ結果の活用は、当院のオンコール体制を強化するだけでなく、円滑なチーム医療体制の向上につながり、D2P短縮に有効でした。今後は、ジャストスコア「赤」以外の症例に対する、D2P短縮に向けた院内体制の整備を課題とし、本学会で得られた知識・経験も踏まえ地域医療に貢献できるように現場に活かしていきたいと思います。

臨床工学科　佃　栄人

テレビ出演の紹介

この度、荒木勇人院長が生活習慣病を中心とした病気と主体的に向き合うために必要な情報を提供する番組『教えて！ドクター 家族の健康』(BS テレ東／ BS デジタル 7ch) に出演しました。

司会の木佐彩子さん (元フジテレビアナウンサー) と「脳梗塞のサインを見過ごさないで」をテーマに対談しました。

BS TV TOKYO

「第6回荒木脳神経外科オープンカンファレンス」開催

コロナ禍でしばらく延期となっていた「第 6 回荒木脳神経外科オープンカンファレンス」が、去る令和 5 年 6月28日、6月から新規開設となった荒木ヘルスケアプラザ3階のガレノスホールで行われました。今回は (株) エーザイのご協力のもと、現地と Web とのハイブリッド方式で行われ、計 51 名の参加でした。新会場はこれまでよりも広く、明るく、各種機器も新しく、視聴しやすかったと好評でした。今回のテーマは、「てんかん」で、脳卒中に関連した患者が増加している側面から「脳卒中後てんかんについて～慢性期を見据えたマネジメント」という演題で広島大学てんかんセンター 飯田幸治教授に、また、荒木ヘルスケアプラザで開設したけいれん外来ご披露の意味もこめて「小児期発症のてんかん～その概略と症例提示」という演題で当院小児科 てんかん専門医 岸高正先生にご講演を賜りました。

飯田先生のお話では、脳卒中後てんかんは若年者とは異なる発作型を呈し、とくに二次性全般型が多く、また高齢者が多いため、抗てんかん発作薬の使用に当たっては他の内服薬との相互作用や認知機能への影響を考慮すること、一部の抗てんかん発作薬には骨粗鬆症を引き起こす可能性が高いものがあるため骨折リスクを軽減しつつ治療すること、などの点が強調されました。岸先生は、小児期発症のてんかんは、しばしば難治性となる West 症候群などの年齢依存性てんかん脳症から小児欠神てんかんやローランドてんかんといった予後良好なものまで多彩な病型があり、熱性けいれんや発作類縁疾患などもあって、正確な診断と治療が肝要と述べられ、その診断に遺伝子検査やビデオ - 脳波同時記録が有用であった症例を提示されました。今回のお話が皆様方の今後の診療に少しでも資することになりましたら幸いです。また、けいれん外来を今後ともよろしくお願いいたします。

近隣医療機関のご紹介

医療法人一陽会 原田病院

住　　所：〒731-5134 広島県広島市佐伯区海老山町 7-10
T　E　L：082－923－5161
F　A　X：082－921－8035
診療科目：内科、腎臓内科（人工透析）、糖尿病・代謝内科、消化器内科（内視鏡）、呼吸器内科、循環器内科、透析外科、放射線科（画像診断センター）、泌尿器科、整形外科、リハビリテーション科、麻酔科
院　　長：山下 和臣

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	－
16:00～18:00	●	●	●	●	●	●	－

＊受付時間は午前8時30分～12時、午後15時30分～18時
＊日曜、祝日休診になります。

院長　山下 和臣先生

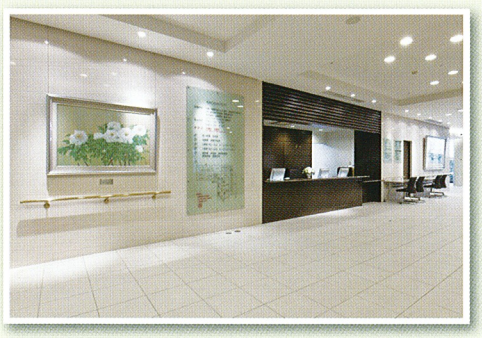
関連事業所：
医療法人 一陽会　一陽会クリニック　〒731-5133　広島市佐伯区旭園10番3号
電話：082-924-0033／FAX：082-924-0037　診療科目：内科、腎臓内科（人工透析）
医療法人 一陽会　イーストクリニック　〒732-0814　広島市南区段原南1丁目3番53号　広島イーストビル6階
電話：082-506-0123／FAX ：082-567-7115　診療科目：内科、腎臓内科（人工透析）
医療法人 一陽会　横川クリニック　〒733-0011　広島市西区横川町2丁目7番19号　横川メディカルプラザ2階・3階
電話：082-231-0111／FAX：082-231-0155　診療科目：内科、腎臓内科（人工透析）

令和5年8月1日より原田病院3代目院長に就任しました山下和臣です。当院は昭和49年に原田医院として開院、昭和62年に医療法人社団一陽会を設立し、原田病院と改称、一般病床120床、人工透析ベッド52床の病院となりました。その後平成16年に現在の海老山町へ移転し、旧原田病院跡は、介護付き有料老人ホームへ改築・移行しました。当院は海老山を我が庭のようにして建っています。海老山の四季折々の変化にはスタッフ、患者さんとも心を癒されることだろうと思います。

全国的にも早い時期より、透析医療に取り組んできました一陽会は、当院の他に一陽会クリニック、イーストクリニック、横川クリニックと３つの透析サテライトがあり、一陽会全体で約800名の維持透析を行っております。当院は内科一般・透析外科・放射線科・泌尿器科・整形外科・リハビリテーション科・麻酔科を標榜し、特に腎疾患治療および糖尿病治療を中心に診療を行っています。入院病床は急性期一般病床80床、地域包括ケア病床40床の計120床で構成されています。佐伯区には公的病院や総合病院がないため、当院が地域医療の重要な拠点となるように、さらに質の高い医療を提供していくことを目標にしています。そのためには、より親密な病病連携・病診連携を構築する必要があります。引き続き病院や診療所の諸先生方との連携を深めていきたいと思います。

また当院では和衷協同、多職種がそれぞれの立場で尊重し合いながら連携するチーム医療に力を注いでいます。これからも地域の人たちから信頼される病院、社会に貢献できる病院を目指し、職員一丸となって頑張ってまいりますので、ご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

外観



受付

外来担当医表 〈荒木脳神経外科病院〉

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初　診	渋川	中原	荒木院長	野坂	江本	広大
		初再診	荒木院長	野坂	渋川	根石	渋川	
				荒木理事長			荒木院長	
	午後	初再診	江本	根石	広大	渋川	野坂	広大
脳神経内科	午前	初再診				青木		
総合診療	午前	初再診	野村（循環器内科）	浅本（消化器内科）	野村（循環器内科）	浅本（消化器内科）	梅本（循環器内科）	藤井（外科：1週） 野村（循環器内科：2·3·4·5週）
								井上（消化器内科）
	午後	初再診	梅本（循環器内科）	梅本（循環器内科）	藤井（外科）	梅本（循環器内科）	梅本（循環器内科）	藤井（外科：1週）
			藤井（外科）	浅本（消化器内科）		浅本（消化器内科）	藤井（外科）	野村（循環器内科：2·3·4·5週）

診察時間

午前 9 時～ 12 時
（初診受付：午前 11 時 30 分迄）
午後 3 時～ 6 時
（初診受付：午後　5 時 30 分迄）

診察予約は
082-272-1114（代表）
へお電話ください。

救急は 24 時間受付けております

※井上名誉教授
第 2 土曜日　月 1 回

外来担当医表 〈あらき　脳・循環器・リハビリクリニック〉

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初再診	江本		江本	江本	（本院）	江本
	午後	初再診	（本院）		江本	江本	江本	江本
けいれん外来（小児科）	午前	再診のみ	岸	岸		岸	岸	
	午後	再診のみ	岸	岸		岸	岸	

診察時間

午前 9 時 30 分～ 12 時 30 分
（初診受付：午前 12 時迄）
午後 2 時 30 分～ 5 時 30 分
（初診受付：午後　5 時迄）

荒木脳神経外科病院

〒733-0821　広島市西区庚午北 2 丁目 8-7
TEL　082-272-1114　FAX　082-272-7048
E-mail　info@arakihp.jp
ホームページアドレス　http://www.arakihp.jp

ARAKI HEALTHCARE PLAZA

〒733-0821　広島市西区庚午北 1 丁目 5-15

1F デイサービス　あらき
TEL　082-507-6100

1F 荒木居宅介護支援事業所
TEL　082-507-6300

2F あらき脳・循環器・リハビリクリニック
TEL　082-208-4114
通所リハビリテーション　TEL　082-208-4177
訪問リハビリテーション　TEL　082-527-1123

4·5F あんしんホーム（認知症対応型共同生活介護施設）
TEL　082-507-6600

交通案内

○自動車
西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ100m（宮島街道沿い）
○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分
○広島バス25号線　／「庚午北2丁目」バス停前